

# 穂小だより



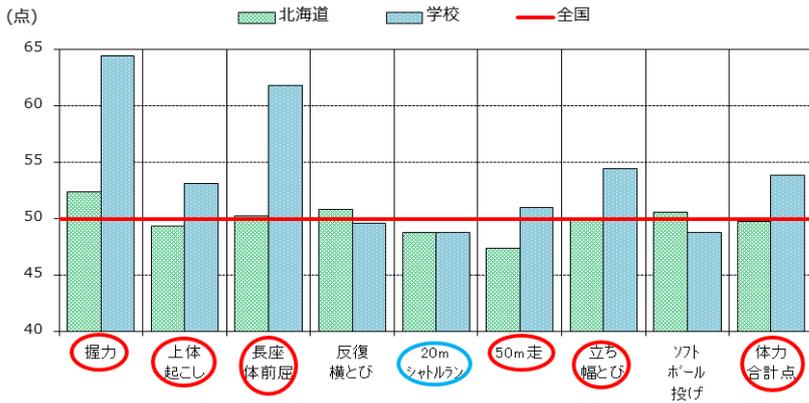
穂別小学校  
学校だより  
No.14  
R2. 2. 27

☆学校教育目標☆  
思いやりを持ち、心豊かに  
たくましく生きる 子どもの育成

## 全国体力・運動能力、運動習慣等調査から見える本校児童の体力の様子

7月に実施しました全国体力・運動能力調査（5年生対象）の結果が文部科学省から届きましたので、明らかになった成果や課題をまとめました。

実技調査T得点（穂別小学校 5年男子）



### 分析結果

【男子】体力合計点（全国平均 50）

**全国平均を上回りました。**

- ・全国平均（50）を上回った種目：6種目（握力、上体起こし、長座体前屈、50m走、立ち幅とび）

【女子】体力合計点（全国平均 50）

**全国平均を大きく上回りました。**

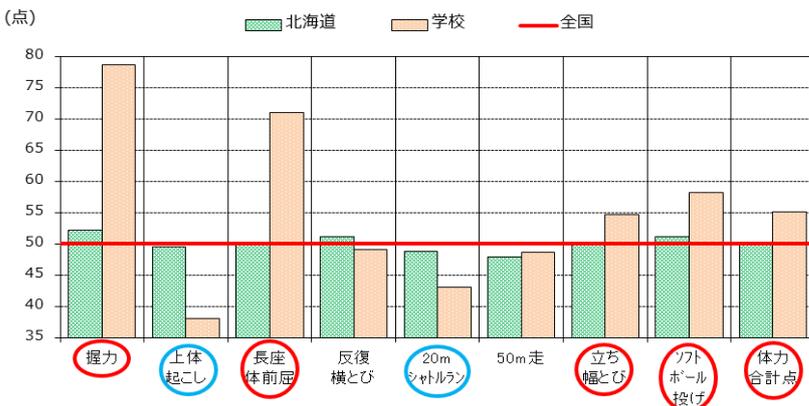
- ・全国平均（50）を上回った種目：5種目（握力、長座体前屈、立ち幅とび、ソフトボール投げ）

- ・特に、握力と長座体前屈は、男女ともに全国平均を大きく上回り、握る力や柔軟性が高いことが分かりました。

- ・男女ともに、20mシャトルランは、全国平均を下回り、持久力に課題があることが分かりました。

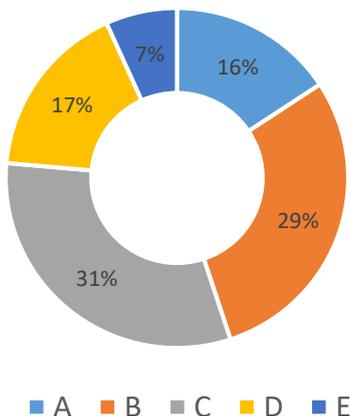
- ・女子の上体起こしは、全国平均を大きく下回り、腹部の筋力や筋持久力に課題があることが分かりました。

実技調査T得点（穂別小学校 5年女子）

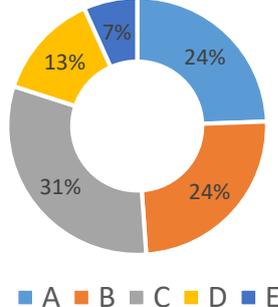


## ※全国体力・運動能力調査（全学年）の総合評価（5段階）の割合【本校独自の測定】

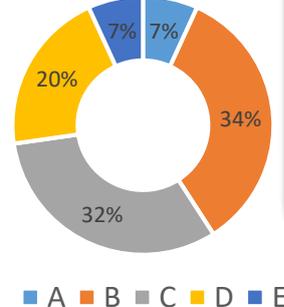
### 全学年合計



### 全学年男子



### 全学年女子



Cを全国標準として、  
Aが高い、  
Bがやや高い、  
Dがやや低い、  
Eが低い  
の5段階で示しています。



### 分析結果

- ・全体として、ABCの割合が、全体の約75%であり、本校児童の運動能力は非常に高いことが分かりました。
- ・男女ともに7%いるEの児童への支援が必要であることが分かりました。

## 成果検証

一昨年の震災の影響で、本校は、1年間以上、体育館を使えませんでした。

校内のホールで体育を行い、ボールを使うことが制限されるなど、身体を動かすことに十分な環境とは言いがたい状況でした。

しかしながら、今年度の全国体力・運動能力調査の結果は非常によく、全国と比較しても本校児童の運動能力が高いことが示されました。

このことは、本校の職員が日々の体育科の授業を工夫して行ったこと、並びに様々な機会を通じて以下のような継続した体力向上の取組を行ったことなどが、本校の児童に大変有効だったからと考えております。

長縄記録会（年3回）



走力向上の取組（春季）



ジョグ・イェ・ヨ運動（年4回）



バトンを利用したボール投げの練習



サーキットトレーニング（冬季）



歴代最高記録の提示

種目	握力	上体おこし	長座体前屈	反復横とび	シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ
1年男子	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
1年女子	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
2年男子	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
2年女子	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
3年男子	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4
3年女子	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
4年男子	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
4年女子	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4
5年男子	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6
5年女子	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
6年男子	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7
6年女子	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6

どさん子元気アップチャレンジへの参加



また、家庭と連携した「からだスマイルチャレンジ」などの生活習慣を見直す取組や、各家庭での体力向上を図る取組、放課後子どもセンターをはじめ、地域主催の体力向上を図る取組が、本校児童の運動能力の向上に大きく影響したと考えております。

今後も、工夫・改善を図りながら、家庭や地域と連携して体力向上の取組を行っていきます。

## 課題検証

全国体力・運動能力調査の結果から、特定の運動（走力、持久力、筋持久力など）を苦手としている児童や、身体を動かすことに苦手意識をもっている児童が少なからずいることが分かりました。

今後、一層の体育の授業改善を図ること、課題の見られる種目に応じた運動を取り入れること、家庭と連携して生活習慣・運動習慣の改善に努めることなどを、継続的に行っていきます。

今年は、オリンピックイヤーです。

児童一人一人が運動習慣や生活習慣を見直す様々な取組を実施し、**改めて、身体を動かすことの楽しさや、学校を卒業した後も、生涯に渡ってスポーツに親しむ大切さ**を育てていきたいと考えております。

今後とも、本校の様々な教育活動に対しまして、地域の皆様、保護者の皆様のご支援・ご協力を、よろしくお願いいたします。

